

コンテンポラリーダンスの‘振付家’に 光をあてる、JCDNの新シリーズ第三弾。

コンテンポラリーダンス新進振付家育成事業 2022 *特設サイトにて、振付家インタビュー、プロフィール、フォトなどをご覧ください。
Choreographers 2022 [沖縄公演] <https://choreographers.jcdn.org>

次代の振付家によるダンス作品 トリプルビル&トーク

2023年3月12日(日).....18:00開演
◎プレトーク 17:00~(16:45開場)

会場: 那覇文化芸術劇場なはーと [小劇場]

チケット発売日: 2023年1月11日(水) [料金] (全席自由/整理番号付) 二一般 2,700円 / U25・障がい者* 2,000円 / 高校生以下 1,000円 ※当日300円増 ※障がい者は介助者1名も同料金
※JCDN会員割引有 ※未就学児入場不可 ※「U25・障がい者」「高校生以下」チケットは、購入時及び当日受付にて証明書をご提示ください。なお、車椅子の方は公演前に問合せまでご連絡ください。※プレトークは、要公演
チケット提示 取扱=●WEB(カンフェティ) <http://confetti-web.com/choreographers2022>
●デパートリウボウ(パレットくもじ4F) Tel: 098-867-1171 (代表) ●コープあぶれ Tel: 098-941-8000
[お問い合わせ]=●沖縄公演制作(オガワ) Tel: 090-2996-1242 Mail: choreookinawa@gmail.com
●NPO法人JCDN Tel: 075-361-4685 ※電話受付時間(11:00-19:00)

Mail: info@jcdn.org

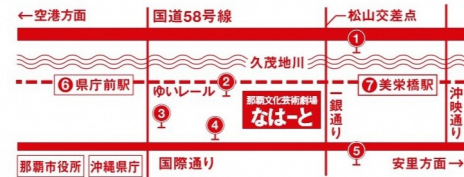
文化庁委託事業「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

[主催]=文化庁/NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

[後援]=沖縄県、(公財)沖縄県文化振興会、沖縄タイムス社、琉球新報社、琉球放送(株)、FM沖縄、ラジオ沖縄、fm那覇



那覇文化芸術劇場なはーと
NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHART
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27



[バス]=①若松入口: 徒歩約6分 ②久茂地公民館前: 徒歩約2分 ③沖銀本店前: 徒歩約6分 ④松尾一丁目: 徒歩約6分 ⑤松尾: 徒歩約6分 [モノレール]=⑥県庁前駅: 徒歩約6分 ⑦美栄橋駅: 徒歩約6分 ※公共交通機関をご利用ください。

◎振付家・上演作品 | 18:00開演

横山彰乃/lal banshees...「海底に雪」*KCA2020奨励賞
米須香音.....「沖縄の空はいつも曇り」*初演
山下残.....「横浜滞在」*ゲスト作品

◎公演前プレトーク | 17:00~(16:45開場).....乗越たかお (作家・ヤサぐれ舞踊評論家)

「こんなものまでダンスなの!？」

秘蔵映像と最新情報で語るコンテンポラリー・ダンス徹底ガイド

●乗越たかお Takao Norikoshi.....作家・ヤサぐれ舞踊評論家。株式会社JAPAN DANCE PLUG代表。国内外の劇場・財団・フェスティバルのアドバイザー、審査員など活躍の場は広い。19年スペインMASDANZA公式審査員。「コンテンポラリー・ダンス徹底ガイドHYPER」(作品社)、「ダンス・バイブル」(河出書房新社)他著書多数。

●NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク.....ダンスと社会を結ぶ、ネットワーク型NPO。2001年、京都にて設立。「ダンスは、人間が生きていく上で不可欠な 生命力 を持っている」を信念として、ダンスの持っている力を社会の中で活かし、子供から老人まで日常生活の中でダンスに触れる機会を創ることを目的とする。

コンテンポラリーダンスの振付家の役割って案外知られていない。「振りをつける」ことに留まらず、作家であり、演出家であり、思想家であり、冒険家であり……。ダンスは、時には社会を察知し、真実を探るメディアでもあるのだ!「Choreographers」は、そんな振付家にまつわるあれこれを、上演&トークを通して掘り下げるシリーズです。また、全国の公共ホールとのネットワークによる再演プラットフォーム形成を目指します。第三弾の会場は沖縄。2020年にスタートした「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD (KCA) 2020」の受賞振付家の作品の他に、地元沖縄から20代の振付家の作品、JCDNイチオシのゲスト作品と、3つ全く世界観の異なる作品を上演します。コンテンポラリーダンスに初めて触れる方も、ぜひトークと合わせてご覧ください。

横山彰乃/lal banshees (埼玉/東京) 「海底に雪」

[yokoyama ayano]……………振付・演出：横山彰乃 出演：鈴木春香、吉野菜々子、横山彰乃 / 斎木穂乃香 助成：公益財団法人セゾン文化財団

横山彰乃は、音楽とリンクした緻密な振付や新たな身体感覚の動きを追求した見た目にもポップな振付に定評があり、個人ではMVや音楽ライブの振付などショービジネスもこなす。2016年にカンパニー「lal banshees」を立ち上げ、ここ数年で国内の複数の振付家賞にノミネート。2021年からセゾン文化財団セゾンフェローIとして、新作に向けたワークを行っている。卓越した空間演出と振付が、ゴージャスで華やかで現実にはない想像世界に観客を導く。初めてダンスを観る方にも親しみやすく、彼女の作品を通して、子どもにも大人にも振付の奥深さを体感してほしい。



Photo: Kusamoto Toshie

よく知っている底から
水面を見上げ
知らない水平線を
思い浮かべず
音の届く先まで睡り
どこかの花を想う

米須香音 (東京/沖縄) 「沖縄の空はいつも曇り」

[komesu kanon]……………振付・演出：米須香音 出演：井手碧、糸教育美、内間り子、久田美海、照屋舞生好、渡久地舞子、比嘉千莉

沖縄出身の米須香音は、〈幼い頃から感じていた「沖縄の空気」、ずっとどこかで感じていた暗くてじめっとしている根本の部分〉をテーマに処女作を発表する。沖縄に生まれ育ち、大人になって関東で活動する彼女は、いま内地の友人たちや同世代から見られる沖縄とは違う、外からは見えない沖縄を描きたいという。「この社会で生きることと踊ることは隣りあわせ」だという彼女が、10代から40代の沖縄に生まれ暮らすダンサーの身体をとおして描く世界。それは、沖縄の観客にどう響くのか。



Photo: Kitamura Yuji

あなたの
ちむぐるに
問う。

山下 残 (京都) 「横浜滞在」

[yamashita zan]……………振付：山下残 出演：デツ禎稀、山下残

ゲスト作品として紹介するのは山下残の短編傑作「横浜滞在」。20年前の2002年夏から秋にかけて、招かれた仕事で横浜のウィクリーマンションにひとりて住んでいる頃に創作された。この頃の山下は「ダンスを書く」というコレオグラフ(振付)に取り組み、既にあるダンスのテクニクを使わずに言葉から振付を発明する試みを追求していた。「横浜滞在」の場合は、山下自身の「日記」が言葉のモチーフとなる。ラップ調に繰り出される言葉と、その言葉にリンクして動く一人のダンサー。完璧に振付られた「言葉」は、繰り返されるうちに、なぜかとても自由に我々に「今起きていること」を想起させる。思わず笑ってしまうユーモアあふれる山下のダンス、お楽しみください。



Photo: Takahashi Katsumi

みなとみらい21 がんばって
24時間工事しているけど、
解体も構築も
できていない僕は、
何もない空き地で遊んでいる
子供がそのまま大きくなった
ようなもんだ。